

## 検査に伴う医療被ばくについて（共同利用）

### X線CT検査を受けられる方へ

CT検査とは、ベッドに寝ていただき、X線を用いることで、体の中の様子を撮影し、さらにコンピュータ処理により精密な横断像（輪切り画像）を得る検査です。

CT検査は、X線を用いるため放射線被ばくを伴いますが、医療被ばくガイドラインに沿って可能な限り少ない線量で、より質の高い画像を提供することを常に実行しています。  
検査による健康被害をもたらす被ばく線量ではありませんのでご安心ください。

### RI検査を受けられる方へ

RI検査とは、特定の臓器や組織に集まりやすい性質を持った放射性薬剤を注射した後、からだの外から高感度のカメラを用いて薬剤の分布を測定することで、その臓器や組織の形態・機能を診断する検査です。

RI検査は、放射性薬剤を用いた検査であるため被ばくを伴いますが、健康被害をもたらす被ばくはありません。投与する薬剤も医療被ばくガイドラインに沿った適切な量を投与し、可能な限り少ない線量でより質の高い検査ができるよう心掛けております。薬剤による副作用も無く、種類により異なりますが薬剤もすぐに体外へ排泄されますので安心して検査をお受けください。

\*上記検査を受けられる方で、

妊娠している方、妊娠の可能性のある方は、主治医までお申し出ください。

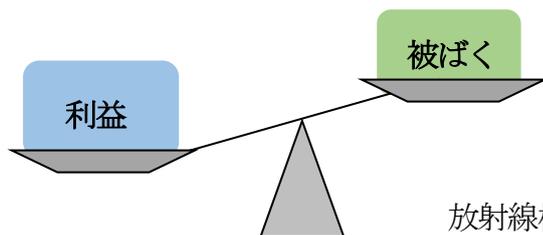
また、ご不明な点がありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

### <検査の必要性について>

放射線検査は、得られる医療情報による利益が被ばくによるリスクより十分に大きいと判断される場合に行われます。また、放射線検査を一定期間ごとに受けていただくこともあります。そうすることで病気の発見や異変、治療効果など適正に検出し、最善の治療につなげることにより、患者様の「生活の質」の保持・向上に寄与するために行うものです。

体には、けがの回復と同じように、放射線による影響に対しても修復機能が働きます。安心して検査をお受けください。

また、小児においては小児専用の撮影条件を用いることで、より一層の被ばく低減に努めております。



放射線検査の利益 > 放射線被ばくのリスク